

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------|------|---------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス くれよん | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年10月1日 | | ～ 2025年10月31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 47家庭 | (回答者数) 33家庭 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年10月1日 | | ～ 2025年10月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8名 | (回答者数) 8名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年2月16日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 子どもたちにアンケートをとったり、話を共感的に聞き、子どもたちの得意なことや好きなことを活動に取り入れることを大切にしている。また、ご家族にも寄り添い、丁寧にご家族の話を聞くことで、子どもたちやご家族が安心して通所していただくことに繋がっている。 | こども会議やなんでも相談室などを通して、子ども1人1人の気持ちに寄り添い、思いを受け止めて話を聞くことを大切にしている。また、ご家族の思いも面談時や送迎時にかかると、子どもにもご家族にも寄り添うことを心掛けている。 | 今後も継続して、子どもの思いに耳を傾け、気持ちを受けとめる関わりを大切にする。お子さんとの関わりで困っているご家庭には、専門的なアドバイスや助言ができるように、職員のスキル、支援の質の向上を目指す。 |
| 2 | 子どもや保護者のニーズを聞き、課題を理解して、将来必要な社会スキルを設定し、そのお子さんに合った個別支援計画を策定して、支援を展開している。 | 送迎時の引継ぎの際のご家族との対話、保護者面談やペアレントトレーニングの講座の中で、ご家族の困り感を聞き、対応と一緒に考えている。また、将来必要な社会スキルの習得のための目標の設定、毎月の会議で目標の達成度合いを確認し、次の目標の検討を行っている。子ども達がその目標に前向きに取り組むための仕組みを作り、実践している。 | 個別支援計画策定の際のアセスメントツールの見直しを今後検討していき、さらに充実した個別支援計画の作成を目指していく。また、子どもたちが将来どうなりたいか、ご家族が子どもにどうなってほしいか、それぞれの希望を聞き、それに沿えるような個別支援計画を立てていく。 |
| 3 | 職員のスキル向上のための研修の受講、学びの機会が設定されている。 | コモンセンスペアレンティングの研修を毎月実施している。その中で支援を見直し、対応方法をなどを学んでいる。定期的に職員間でスーパービジョンを行い、支援の相談や対応方法で困っていることを相談できる体制を作っている。 | 今後も継続し、職員の学びの機会を取り入れ、現場で統一した支援を展開できるように取り組んでいく。スーパービジョンを途切れさせないよう計画を立て、支援のことについて相談しやすい環境を維持していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|---|
| 1 | ホームページやSNSの活用ができていない。 | ホームページやSNSを活用し、保護者の方へ活動の様子、行事の予定等を伝えられていない。紙面での発信のため、作成に時間を要することや、全員に配布できたかのチェックなどの業務が多くなっているという課題がある。 | ホームページやマチコミアプリを活用し、手軽にたくさんの方へ情報発信ができる環境を整える。 |
| 2 | 児童館との交流や地域の子どものとの交流の機会を作ることが出来ていない。 | 児童館に通っているお子さんがいるが、情報共有のみしかできず、児童館での過ごし方を見たり、交流する機会を設定出来ていない。人手不足のため、職員が児童館に行ける体制をとることが難しいのが現状である。 | 事業所に通っているお子さんの情報共有を児童館の先生と行い、一緒に活動する機会を作れるようにしていきたい。また、児童館と事業所を気軽に行き来できるような体制を整えるために、町に必要性を伝えていく必要がある。 |
| 3 | 各マニュアルを保護者の方に説明、周知をすることができていない。避難訓練、地震訓練は実施しているが、報告まで詳しくできていない。 | マニュアルはあるが、職員も目を通す機会が少ないのが課題である。訓練後には、予定表のお知らせ欄で実施したことは伝えていますが、どのように避難したかなどの詳しく伝える事ができていない。 | 各マニュアルの整備、マニュアルの配布、周知を行っていく。避難訓練等を実施した際は、簡単な報告書を配布し、保護者の方に内容を把握してもらえよう工夫したい。また、マチコミアプリを利用し、子どもたちの様子も発信できるように検討していく。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 くれよん

公表日 2026年3月30日

利用児童数 47家庭

回収数 33家庭

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|---|----|---------------|-----|-------|---|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 26 | 3 | | 3 | リラックスできるスペースがあると良い。ゴロゴロできるような。 | 子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを職員間で話し合いながら整えていきます。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 22 | 6 | 1 | 4 | 職員一人当たり利用者何人つくのかわからないため。いつも大変そうに忙しく働いているように見えたりします。 | 今後、通信等で利用人数に対して職員の人数を伝えられるようにします。できるだけ余裕をもって支援、対応ができるよう努めて参ります。 |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 30 | | | 3 | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 27 | 4 | | 2 | 実際に見たことがない。 | 子どもたちの様子や取り組みの内容をSNS等で発信し、たくさん保護者の方に見て頂けるよう工夫して参ります。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 32 | 1 | | | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 30 | 2 | | 1 | | |
| | 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 32 | 1 | | | | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 31 | 1 | | 1 | | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 32 | 1 | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 31 | 1 | | 2 | | |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。 | 17 | 8 | 1 | 6 | | |
| 保護者 への 説明等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 31 | 2 | | | | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 32 | 1 | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 32 | 1 | | | | |
| | 15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 31 | 2 | | | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 32 | 1 | | | | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 32 | 1 | | | | |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 24 | 5 | | 4 | | |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|---|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 27 | 3 | | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 28 | 1 | | 1 | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 24 | | | 5 | 令和8年度はマチコミアプリを活用して、欠席連絡に使用していただいたり、活動の様子を発信して参ります。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 29 | | | 1 | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 22 | 3 | | 5 | 非常時等の対応については、どの項目においても『わからない』『どちらともいえない』が多く散見されますので、周知の仕方を徹底して参ります。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 22 | 2 | | 6 | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 27 | 2 | | 1 | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 24 | 1 | | 5 | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 31 | | | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 26 | 3 | 1 | | 子どもたちに「楽しい」と思ってもらえるような事業所づくりに努めます。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 29 | 1 | | | ・小1からお世話になり、支援してくれている方々にも慣れて安心して通えています。ありがとうございます。 ・子どもたちのことをよく理解し、良いところを褒めて伸ばしてくれてありがとうございます。職員の方々には本当に感謝しています。 ・いつもありがとうございます。これからも安心して通所していただくために、丁寧に支援させていただきます。 ・ありがとうございます。これからもお子さんたちが楽しく過ごし成長できるようお手伝いさせていただきます。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | くれよん | | 公表日 | | 2026年 3月 30日 | |
|---------|----|--|----|-----|-------------------------------|--|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | 2 | 利用児の状況に合わせて活動の場所を時間によって分けている。 | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 2 | 6 | 他事業所と連携し、職員を増やして対応している曜日もある。 | 働き手の確保に努め、業務の省力化等もおこない、支援体制の充実を図っていく必要がある。介助度が高いお子さんや行動面で支援が必要なお子さんが利用する際には、職員間の連携が大変なこともある。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 7 | 1 | | 構造化ができていない空間がある。子どもたちが見通しをもって安心して過ごせるよう工夫が必要である。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 1 | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 8 | | 子どもが落ち着ける部屋を用意している。 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 7 | 1 | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | | 通信で様子を伝える事ができている。 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | | 毎月の会議で職員の意見を交換する機会を作っている。 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 8 | | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 8 | | | | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 8 | | | 令和8年度においては、公表しているプログラムを見直し、改めて公表することを検討している。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | 1 | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 8 | | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 8 | | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | 3 | | 子どもたちの強みや課題などがわかり、支援に活かしやすいアセスメントツールに変更する必要があると感じる。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 8 | | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 8 | | | | |

| | | | | | | |
|--|----|--|---|---|--|---|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 8 | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 8 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 8 | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 3 | 5 | 支援狩猟後の打ち合わせはないが、子どもたちの様子やご家族からの連絡事項についてなど、職員間で共有できている。 | 支援終了後に行うことは難しく実施できていない。支援が始まる前には、その日の支援のポイントや活動内容等の周知、共有を行っている。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 8 | | 定期的にスーパービジョンを行い、支援についての検証・改善を考えることができている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 8 | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 | 8 | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 7 | 1 | 障がいの重たいお子さんは、カードで選ぶ機会を作っている。 | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 8 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 8 | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 8 | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 8 | | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 8 | | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 6 | 2 | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 7 | | 必要に応じて交流する機会を設けられるよう検討していく。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 8 | | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 8 | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 8 | | 保護者の方への講座を実施している。 | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 8 | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 8 | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 8 | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 8 | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|---|---|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 5 | 3 | | 親子行事や茶話会などを実施し、保護者同士で交流できる機会は作っているが、多くはないため、回数や内容の検討が必要である。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 8 | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 8 | | | 令和8年度はマチコミアプリを活用して、欠席連絡に使用していただいたり、活動の様子を発信して参ります。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 8 | | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 8 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 2 | 6 | | 地域行事にこどもたちが参加することはあっても、事業所の行事に地域住民を招待することは行っていない。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 3 | 5 | ひまわり学園と合同で避難訓練を実施することもある。 火災、地震避難訓練を年1回ずつ実施している。 | 避難訓練はしているが、保護者の方に周知・報告ができていない。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 8 | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 8 | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | 2 | | アレルギーのある子どもについては、保護者から説明をいただき対応している。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 8 | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 8 | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 8 | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 8 | | | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 8 | | | | |